

働く先輩の話を聞こう【高等部】

2月28日に「働く先輩の話を聞こう」を実施しました。新型コロナウイルスの蔓延を受けて、ビデオでの紹介や講話のみでの実施が多かったのですが、久しぶりに先輩と津軽障害者就業・生活支援センターの職員2名をお招きして実施することができました。今回の先輩は令和元年度の卒業生です。卒業してから4年。ラグノオささき境関工場で働いています。特にお願いはしていなかったのですが、スーツ姿で来校してくれました！



【先輩の一日】

「仕事の日は朝、5時から5時半に起きます。身だしなみを整え朝食を済ませたら、通勤します。家から歩いて黒石駅まで行き、黒石駅からバスに乗って会社の近くのバス停まで行き、そこからまた歩いて会社に行きます。通勤には片道1時間くらいかかります。

仕事は8時半～17時までです。ラインに入ると2時間は続けて作業することになります。

昼ご飯はお弁当を持って行って、食堂で食べています。

17時に仕事が終わると、また1時間かけて帰り、お風呂に入り夕食を食べます。その後はゲームや好きな事をして過ごしています。だいたい22時ころに寝ます。

卒業してから、ほとんど休まず通
って働いています。すごい！

自分の楽しみあるので、仕事
にも集中できていますね！

【先輩の余暇】

黒石の実家で暮らしているので、家にお金を入れますが、残りは貯金をしたり「推し活」につかったりしています。推しは「レペゼンフォックス（日本の音楽グループ）」です。推し仲間と一緒に、仙台や東京、福岡などでのコンサートに新幹線や飛行機を乗り継いで行ったりもしています。全て自分の給料でやりくりしています。



最近はスイーツ作りにもはまっています。失敗もするけどネットで調べながら作ってます♪
*当日、作ったケーキをPたくさん持ってきてくれました！おいしかったです！（写真）

新人教育も任せられるほど、
信頼されているんですね！

【働くことについて】

自分は、とにかくお金をたくさん稼ぎたかったので、自分に合った職場で働くことを考えていました。働き始めたときは、特に大変と感じることはなく、むしろ、仕事全部が新しくチャレンジできていることが楽しかったです。仕事を休もうとか、サボりたいとか考えたことはありません。

最近では新しい人に仕事を教えることを担当するようになりました。教えるということはとても難しいです。すぐに覚える人もいれば、何回も教えなければいけない人もいますから。なので、教えるときは「その人によって教え方を変える、何回も教える、やさしく教える」ように気を付けています。

仕事は疲れるので、まずは体力が必要だと思います。また、学校生活でも自分で考えて行動することが大切だと思います。

作業はもちろん、挨拶、返事、
報告もできていますね！

【工場長さんの評価】

何にでも一生懸命で、作業のスピードも速くて頼りになる社員です。挨拶や報告の声の大きさが素晴らしいです。分からないことをすぐに聞いてくれるので、仕事を任せても大丈夫と安心できます。

高等部の皆さんも、話すときは相手の目を見てハッキリとすることです。自分で考えて行動し、分からないときはすぐに周りに聞く、一緒に働く人を認め、みんなでやっという気持ちを大切にしてください。